

2004.10.2

日仏景観会議2004高岡会議  
「人、行き交う美しい景」

2003.7

新大学創設準備協議会設置

2003.5

新大学構想協議会において、  
再編・統合を決定し、  
3大学長が再編・統合合意書に調印

2002.4

新大学構想協議会設置

2002.3

富山大学、富山医科薬科大学、  
高岡短期大学が再編・統合推進に関する  
合意書に調印

## 富山大学 芸術文化学部としての1年目



芸術文化学部 学部長

前田 一樹  
Kazuki Maeda

武蔵野美術大学造形学部基礎デザイン学科(昭和46年)卒業。株式会社前田デザインアソシエーツ代表取締役社長を経て平成13年より高岡短期大学教授、平成16年学長補佐兼務、平成17年10月より現職。パッケージデザイン、グラフィックデザイン、地域振興デザインプロデュース等を専門としている。

大学統合を目指した平成17年、芸術文化学部が活動を開始した平成18年。

国立大学の法人化後、初の3大学統合という大きな目標を達成し、平成17年10月1日に統合を迎えた。

その過程で教職員が費やした時間と努力は並大抵のものではなく、今日芸術文化学部が大過なくスタートをしているのも、皆様の惜しみない努力の賜物といえる。また新入生を迎えた本年3月に退官された先生方の多大なご尽力に、力を借りたところは大きく、深く感謝の意を表したいと思う。

富山大学芸術文化学部の創設に向けた一連の広報戦略は、学部の真の実力を裏付ける舞台であり、富山県内外に芸術文化学部が専門家集団として、その力量を問われ、社会的評価を受ける重要課題と考え、新学部創設の広報戦略を3つの視座から設定した。

- ・対社会に向けて
  1. 高岡の認知度の向上
- ・対国際化に向けて
  2. 地方都市に於ける国立系総合大学の芸術文化学部が担う役割・存在意義の確立
- ・対学生に向けて
  3. 街全体をキャンパスとする芸術文化学部の理念と形成

2006.10.7,8	高岡文化サミット 「万葉と舞楽の世界」
2006.4.7	第一期生入学式
2006.3.3	特色・現代3GP採択記念フォーラム
2005.11.12,13	シンポジウム 「万葉に未来を、たつねNEMAYOU」
2005.9.30	フォーラム 「世界が注目する日本の芸術文化」
2005.10.1	富山大学芸術文化学部創設
2005.9.16-10.16	展覧会 「工芸都市高岡 伝統と革新」展
2005.6.10	東京シンポジウム 「日本の未来と、地方・芸術文化・教育」
2005.7	文部科学省が、初代学長候補者として 西頭徳三氏を指名
2005.5	国立大学法人法の改正案が国会で成立
2004.11	文部科学省大学設置・学校法人審議会 において富山大学の設置を許可

平成18年4月北海道から九州まで 全国から多くの新入生を迎えた。そして芸術文化学部は教育、研究、地域貢献の3つの使命に対し、地元の期待も高く、高岡市・富山県との連携を強化し、一層の飛躍・発展に資するため多くのプロジェクトを立ち上げた。

富山の自然と生活環境が次世代のクリエイターを目指す学生に与える影響は大きく、高岡は都市では体得できない日本の精神が育まれていく地域と確信し、4年間の高岡留学は、都心部で育つ学生とは違った要素を備え、発想や構想の源に日本のアイデンティティーを引き継ぐ感性が備わると考えた。またフィンランド・イタリア・イギリス、その他の芸術文化先進国との国際交流は、複数の視座からモノやコトを創出する力を備えた、クリエイターを生み出すとも考えている。

#### 対社会に向けて

高岡の認知度の向上

#### 対国際化に向けて

地方都市に於ける国立系総合大学の  
芸術文化学部が担う役割・存在意義の確立

#### 対学生に向けて

街全体をキャンパスとする  
芸術文化学部の理念と形成